

基本モジュール



I -03 仕入先マスター

仕入先マスターの役割

仕入先の詳細定義をコンピュータ内部に記憶させる事で、効率的に業務を行う為のマスターです。

仕入先マスターは基本情報と買掛情報の2画面で構成されています。

- ・登録処理では買掛情報の登録が不要です
- ・基本情報は仕入先の取引内容の項目とDM発行設定項目を登録します
- ・買掛情報は販売管理のみで使用します

次頁以降で各画面の詳細を説明します。

仕入先マスターメンテナンス (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H)

登録 仕入先マスターメンテナンス 20年10月度

| | | | |
|--------|-------------|---------|--------|
| 仕入先コード | | | |
| 仕入先名 | | | |
| 略称カナ | 外注先区分 | 2-兼用 | |
| 郵便番号 | | | |
| 住所1 | | | |
| 住所2 | | | |
| 電話番号 | FAX番号 | | |
| ランク | 取扱限度額 | | |
| 仕入規制 | 0-仕入可能 | | |
| 伝票区分 | 0 - 自社伝票 買取 | TAX計算有無 | 0-有 |
| 地区コード | -なし | TAX発生区分 | 0-締め単位 |
| 送り状区分 | 0-無 | TAXぬき分け | 0-切り捨て |
| 案内書発行 | 0-無 | 2回締運用 | 0-無 |
| 繰越し金額 | | 締日 | |
| 支払率 | % | 支払サイン | 2-翌月 |
| 振込手数料 | | 支払予定期 | |

DM項目

| | | | |
|-------|-----|-----|-----|
| 年賀状 | 1-有 | 御挨拶 | 1-有 |
| 署中見舞い | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 展示会 | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 御中元 | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 御歳暮 | 1-有 | その他 | 1-有 |

担当者 -なし

備考欄

買掛情報 (B) []

更新 (U) データ送信 (R) 中止 (S) 終了 (X)

仕入先コードを6行までの数値で入力して下さい。

仕入先マスター-買掛金情報 (Win32 NT)

画面印刷 (H)

登録 仕入先マスターメンテナンス

株式会社東光スタイル

| | | | | |
|---------------------------------|--------|-------|-------|---|
| 締 め 間 買 掛 情 報 | 仕入 | | 支払 | |
| | 前回仕入残高 | 0 | 今回支払額 | 0 |
| | 今回仕入 | 0 | 今回相殺額 | 0 |
| | 今回返品 | 0 | | |
| | 今回値引き | 0 | | |
| | 今回相殺 | 0 | | |
| | 今回純仕入 | 0 | | |
| 今回消費税 | 0 | 今回支払計 | 0 | |

今回支払予定期

0.00

| | | | | |
|------------------|--------|------|-------|---|
| 経 理 情 報 | 仕入 | | 支払 | |
| | 前月買掛残額 | 0.00 | 今回支払額 | 0 |
| | 当月仕入 | 0 | 今回相殺額 | 0 |
| | 当月返品 | 0 | | |
| | 当月値引き | 0 | | |
| | 当月純仕入 | 0 | | |
| | 当月消費税 | 0 | 支払合計 | 0 |

当月買掛残額

0.00

基本情報 (A) []

このボタンをクリックするか、このまま Enterキー押下で基本情報画面に戻ります。

基本モジュール



I -03-1 仕入先マスター [登録]処理

[登録]処理説明

ここでは仕入先マスターの登録について説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。

左上の[処理(F)]から[登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



2. 仕入先コードの入力

英数字 6 文字以内で入力します。重複は不可となります。

3. 各項目の入力

以下、仕入先名から支払予定日まで入力します。

各項目は次項で説明します。

仕入先マスターメンテナンス (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H)

登録

仕入先マスター メンテナンス

20年10月度

| | | | |
|--------|-------------------|---------|--------------|
| 仕入先コード | 001 | | |
| 仕入先名 | 株式会社東光スタイル | | |
| 略称力ナ | トウコウ | 外注先区分 | 2-兼用 |
| 郵便番号 | 151-0051 | | |
| 住所1 | 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-15 | | |
| 住所2 | 鈴福ビル 303 | | |
| 電話番号 | 12-3456-7456 | FAX番号 | 12-3456-7457 |
| ランク | | 取引限度額 | |
| 仕入規制 | 0-仕入可能 | | |
| 伝票区分 | 6 - A4横伝票PDF版 | TAX計算有無 | 0-有 |
| 地区コード | -なし | TAX発生区分 | 0-締め単位 |
| 送り状区分 | 0-無 | TAX丸め区分 | 0-切り捨て |
| 案内書発行 | 0-無 | 2回締運用 | 0-無 |
| 繰越し金額 | 0 | 締日 | 31 |
| 支払率 | 100.00 % | 支払サイン | 2-翌月 |
| 振込手数料 | | 支払予定日 | 31 |

DM項目

| | | | |
|-------|-----|-----|-----|
| 年賀状 | 1-有 | 御挨拶 | 1-有 |
| 暑中見舞い | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 展示会 | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 御中元 | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 御歳暮 | 1-有 | その他 | 1-有 |

担当者 000 -大井徳三

備考欄

メモ欄を全角80文字 半角160文字以内で入力して下さい。(改行キー入力可能)

買掛情報 (A) 更新 (U) デフォルト (R) 中止 (S) 終了 (X)

基本モジュール



項目説明(*は入力が必須の項目です)

| 項目名 | 属性 | 入力桁数 | 説明 |
|----------|----|---------|---|
| * 仕入先名 | 入力 | 全角 20 桁 | 通常漢字で入力します。半角全角の混在も可能です。 ただし、外部提出帳票以外の仕入先名印字は全角15文字以内の表現 が多いため、短く登録することをおすすめします。 |
| * 略称カナ | 入力 | 半角 10 桁 | 半角カナで入力します。 |
| * 外注先区分 | 選択 | | 「0-仕入先」: 完成品仕入の場合に選択します。 例) 製品買いの場合、加工無の仕入商品。 「1-外注先」: 工場を指します。加工を伴う仕入入力時に選択します。 「2-兼用」: 上記の属性が兼用する場合に選択します。 初期値は「0-仕入先」となります。 |
| 郵便番号 | 入力 | 半角 10 桁 | ハイフン付きで入力します。例) 151-1522 |
| 住所1 | 入力 | 全角 20 桁 | 通常漢字で入力します。半角全角の混在も可能です。 郵便番号を入力すると都道府県と市町村名が自動で入力されるので、 残りの番地を入力します。 |
| 住所2 | 入力 | 全角 20 桁 | 通常漢字で入力します。半角全角の混在も可能です。 建物名などを入力します。 |
| 電話番号 | 入力 | 数値 14 桁 | ハイフン付きで入力します。例) 03-3404-2961 など |
| FAX 番号 | 入力 | 数値 14 桁 | ハイフン付きで入力します。例) 03-3404-3840 など |
| ランク | 入力 | 半角 1 桁 | コードを任意に設定します。A～Z 又は 0～9 が使用可能です。 |
| 取引限度額 | 入力 | 数値 9 桁 | 仕入先毎の仕入限度額を入力します。 |
| 仕入規制 | 選択 | | 「0-仕入可能」「1-仕入停止」「3-取引停止」から選択します。 初期値は「0-仕入可能」となります。 |
| 伝票区分 | 選択 | | 使用する伝票形式を選択します。 「0-自社伝票 買取」「2-自社色別伝票」「3-A4 縦 7 色伝票」「4-A4 横伝票」「6-A4 横伝票 PDF 版」「7-正式名称対応 A4 伝票」より選択します。 初期値は「0-自社伝票 買取」です。 |
| 部門コード | 選択 | | 部門マスターで登録された部門名を選択します。 |
| 送り状区分 | 選択 | | 「0-無」「1-佐川急便 1(新)」「2-佐川急便 2(旧)」「3-福山通運」「4-ヤマト運輸」から選択します。 初期値は「0-無」となります。 |
| 案内書発行 | 選択 | | 支払案内書発行の有無を「0-無」「1-有」から選択します。 初期値は「0-無」となります。 |
| 繰越し金額 | 入力 | 数値 9 桁 | 運用の導入時のみ使用します。 注: 買掛情報の前回仕入残高・前月買掛残額が同時に登録されます。 修正時は特に注意します。 |
| 支払率 | 入力 | 数値 3 桁 | 初期値は 100.00% となります。 |
| * 振込手数料 | 入力 | 数値 8 桁 | 税抜きで入力します。初期値は「0」となります。 |
| TAX 計算有無 | 選択 | | 消費税計算を「0-有」「1-無」から選択します。 初期値は「0-有」となります。 |
| TAX 発生区分 | 選択 | | 消費税の計算時点を「0-締め単位」「1-伝票単位」から選択します。 初期値は「0-締め単位」となります。 |
| TAX 丸め区分 | 選択 | | 消費税の端数処理方法を「0-切り捨て」「1-切り上げ」「2-四捨五入」から 選択します。初期値は「0-切り捨て」となります。 ※消費税施工規則22条により TAX 発生区分が「0-締め単位」の場合、 必ず「0-切り捨て」となり、通常は「0-切り捨て」を選択します。 |

基本モジュール



| 項目名 | 属性 | 入力桁数 | 説明 |
|---------------|----|--------|---|
| 2回締運用 | 選択 | オプション | オプション機能で ON の場合のみ選択が可能です。 使用する場合は、「1-有」を選択します。 初期値は「0-無」となります。 |
| *締日 | 入力 | 数値 2 桁 | 数値 01~31 で入力します。30,28 の月末の場合でも 31 と入力します。 |
| *支払サイン | 選択 | | 支払のサイトを「0-不定」「1-当月」「2-翌月」「3-翌々月」「4-3箇月後」「5-4箇月後」「6-5箇月後」から選択します。初期値は「2-翌月」となります。基本的に「0-不定」は設定しません。 |
| *支払予定日 | 入力 | 数値 2 桁 | 数値 01~31 で入力します。30,28 の月末の場合でも 31 と入力します。 |
| *2回目締日 | 入力 | 数値 2 桁 | 数値 01~31 で入力します。30,28 の月末の場合でも 31 と入力します。 |
| *2回目 支払サイン | 選択 | | 支払のサイトを「0-不定」「1-当月」「2-翌月」「3-翌々月」「4-3箇月後」「5-4箇月後」「6-5箇月後」から選択します。初期値は「2-翌月」となります。「0-不定」を設定した場合、当月として集計されます。カレンダー日付から見て 1 回目の締め日より後の日付で設定します。 |
| *2回目 支払予定日 | 入力 | 数値 2 桁 | 数値 01~31 で入力します。30,28 の月末の場合でも 31 と入力します。 |
| 担当者 | 選択 | | 担当者を選択します。 |
| DM 項目 | 選択 | | 販売管理の[DM 発行処理]で発行の抽出条件として使用します。 0-無、1-有、初期値は「1-有」です。 ※「その他」の項目は上から「その他 1」～「その他 4」の番号になります。 |

販売管理の[DM 発行処理]画面(一部抜粋)

4. **更新**ボタン
入力したデータを登録します。
5. **デフォルト**ボタン
得意先コードと支店コード以外の入力中のデータを消去します。
6. **中止**ボタン
得意先コードと支店コードも含め全ての入力中のデータを消去します
7. **終了**ボタン
仕入先マスターを終了し、マスター画面に戻ります。

基本モジュール



I -03-1_1 仕入先マスター [買掛情報]



仕入先締め間

仕入先締め間とは仕入先に指定された売上集計期間のことです。

例: 20日締め
3月度運用の場合
2/21～3/20

会社締め日

自社の売上、仕入、在庫の月次を締める日付のことで、多くは20日または月末となっています。

例: 月末31日
3月度の場合
3/1～3/31

締め間買掛情報(各仕入先)の締め間(例10,20,末日締め)集計と、月間買掛情報の月間(会社締め日)集計で構成されており、販売管理のデータと連携して自動的に集計されます。

よってマスター登録時はNBS運用以前のデータを入力することはありますが、NBS運用後のデータの入力や修正は不要となります。

★各項目の修正について

原則的に修正を行うことは厳禁です。

修正を行うことにより仕入明細と締め間買掛情報で差異が生じたり、変更の履歴が残らないため、社内的に問題となる恐れがあります。

但し、データベースの破損や操作等のミスにより各項目の数値を修正することはあります。

仕入先マスター買掛金情報 (Win32 NT)

画面印刷 (H)

登録 仕入先マスターメンテナンス

株式会社東光スタイル

A: 締め間買掛情報

| 仕入 | | 支払 | | |
|---------|--------|------------|-------|----------|
| 締め間買掛情報 | 前回仕入残高 | 1,605,544 | 今回支払額 | -300,000 |
| | 今回仕入 | 1,650,000 | 今回相殺額 | 0 |
| | 今回返品 | 0 | | |
| | 今回値引き | 2,500 | | |
| | 今回相殺 | 0 | | |
| | 今回純仕入 | 1,647,500 | | |
| | 今回消費税 | 131,800.00 | 今回支払計 | -300,000 |

B: 月間買掛情報

| 仕入 | | 支払 | | |
|------|--------|--------------|----------|----------|
| 経理情報 | 前月買掛残額 | 1,902,844.00 | 現金 | 0 |
| | 当月仕入 | 1,650,000 | 小切手 | -300,000 |
| | 当月返品 | 0 | 手形 | 0 |
| | 当月値引き | 2,500 | 振り込み | 0 |
| | 当月相殺 | 0 | 相殺 | 0 |
| | 当月純仕入 | 1,647,500 | 手数料 | 0 |
| | 当月消費税 | 131,800.00 | 消費税 | 0 |
| | | 支払合計 | -300,000 | |

基本情報 (A)

このボタンをクリックするか、このまま Enterキー押下で基本情報画面に戻ります。

上記画面[A: 締め間買掛情報]項目にて、販売管理支払明細書発行が行われます。

仕入先の締め日ごとに管理されます。支払い予定等の締め間仕入金額もこのデータが累積され、支払予定表に利用されます。

月間集計項目は月次処理の買掛金管理表等で使用されます。

基本情報ボタンで仕入先マスターの画面に戻ります。

基本モジュール



[買掛金残高の登録手順] (※販売管理が運用されている場合)

1. 仕入先マスターの登録

基本情報を入力しておきます。

2. 基本情報の繰越し金額項目の入力

消費税を含む買掛金残高を入力します。

3. 運用の開始

仕入支払入力をを行い仕入管理を行います。

但し、マスター登録後・締め日更新処理実行前であれば、2.の繰越し金額項目を運用後に入力することも可能です。

残高登録時点では、支払情報の前回仕入残高項目と前月買掛金残高は同一の金額となります。そのため、月末締め日以外の仕入先では一回目の締め間買掛明細を旧システムでの明細と NBS の仕入締め間元帳を使用することになります。

例 会社締め日=31日、NBS 販売管理の切り替え=3月31日とした場合、4月20日の仕入買掛作業は、

旧システムで3月21日～3月31日

NBS の販売管理で4月1日～4月20日となります。

仕入先マスターメンテナンス (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H) 20年10月度

登録 仕入先マスターメンテナンス

| | | | | | |
|--------|-------------------|---------|------------|-------|------|
| 仕入先コード | 001 | DM項目 | | | |
| 仕入先名 | 株式会社東光スタイル | 年賀状 | 1-有 | 御挨拶 | 1-有 |
| 略称カナ | トウコウ | 暑中見舞い | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 郵便番号 | 151-0051 | 展示会 | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 住所1 | 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-15 | 御中元 | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 住所2 | 鈴福ビル 303 | 御歳暮 | 1-有 | その他 | 1-有 |
| 電話番号 | 12-3456-7456 | TAX計算有無 | 0-有 | | |
| 取引限度額 | 12-3456-7457 | TAX発生区分 | 0-締め単位 | | |
| 仕入規制 | 0-仕入可能 | 送り状区分 | 0-無 | | |
| 伝票区分 | 6 - A4横伝票PDF版 | TAX丸め区分 | 0-切り捨て | | |
| 地区コード | -なし | 案内書発行 | 0-無 | | |
| 送り状区分 | 0-無 | 繰越し金額 | 31,986,490 | 締日 | 31 |
| 案内書発行 | 0-無 | 支払率 | 100.00 % | 支払サイン | 2-翌月 |
| 繰越し金額 | 31,986,490 | 振込手数料 | | 支払予定日 | 31 |

担当者 000 -大井徳三
備考欄

買掛情報 (A) 更新 (U) デフォルト (R) 中止 (S) 終了 (X)

支払率(%)を入力して下さい。小数点以下2桁まで設定できます。

基本モジュール



I -03-2 仕入先マスター [修正]処理

[修正]説明

ここでは仕入先マスターの修正について説明します。

仕入先コードの変更はできません。

操作説明

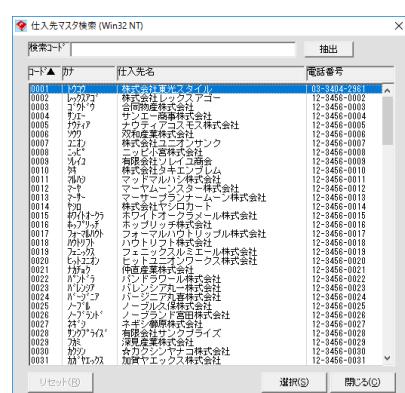
1. 処理区分の選択

左上の[処理(F)]から[修正(E)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. 仕入先の選択

仕入先コードと支店コードを入力する、またはスペースキーを押して仕入先マスター検索からマウスでの選択が可能です。
「検索コード」の隣に検索したい文字を入力し、右の「抽出ボタン」を押します。検索文字を含むデータが下に表示されます。文字はコード、カナ、仕入先名、電話番号が入力でき、自動でどの項目か判断されます。また、検索文字を削除する場合は、左下の「リセットボタン」を押します。



3. 項目の修正

修正したい項目をマウスで選択して修正します。
仕入先コード以外の修正が可能です。

*締日の変更は P.6 参照



4. [更新]ボタン

修正したデータを登録します。

5. [呼出時]ボタン

得意先コードと支店コード以外の入力中のデータを消去します。

6. [中止]ボタン

得意先コードと支店コードも含め全ての入力中のデータを消去します

7. [終了]ボタン

仕入先マスターを終了し、マスター画面に戻ります。

基本モジュール



I -03-3 仕入先マスター [削除]処理

[削除]説明

ここでは仕入先マスターの削除について説明します。 **※一度削除したマスターを元に戻すことはできません。**

以下に該当する状況の場合、原則的に削除はできません。

ア)入荷明細、仕入支払明細、仕入先元帳に明細が存在する場合

イ)買掛金が0以外、または今期仕入支払実績が存在する場合

※ア)に該当が無く、イ)の条件のみの場合、警告表示後に削除は可能です。

操作説明

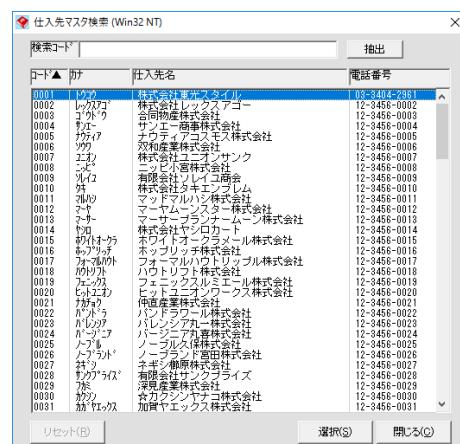
1. 処理区分の選択

左上の[処理(F)]から[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



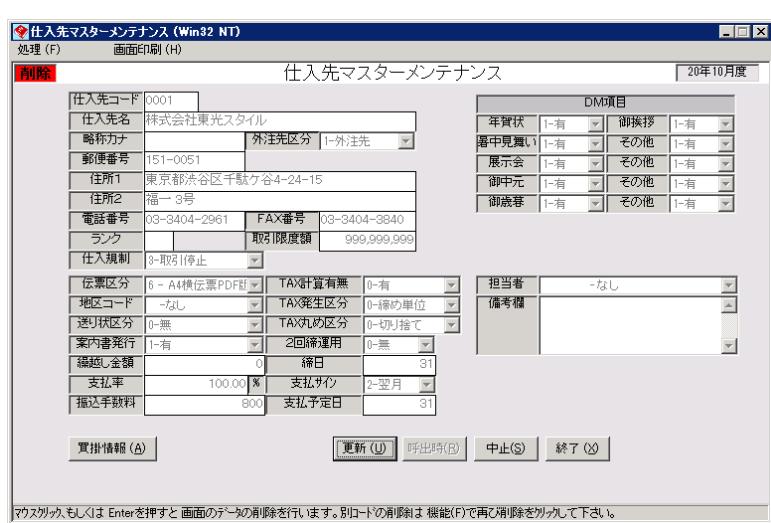
2. 仕入先の選択

仕入先コードと支店コードを入力する、またはスペースキーを押して仕入先マスター検索からマウスでの選択が可能です。



3. 仕入先の確認

表示された仕入先が削除対象であるか確認します。



4. [更新]ボタン

修正したデータを登録します。

5. [中止]ボタン

得意先コードと支店コードも含め全ての入力中のデータを消去します

6. [終了]ボタン

仕入先マスターを終了し、マスター画面に戻ります。

基本モジュール



I -03-4 仕入先マスター [リスト]処理

[リスト]説明

ここでは仕入先マスターのリスト出力について説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

左上の[処理(F)]から[リスト(L)]にマウスカーソルを乗せ、表示された以下の2項目から選択します。

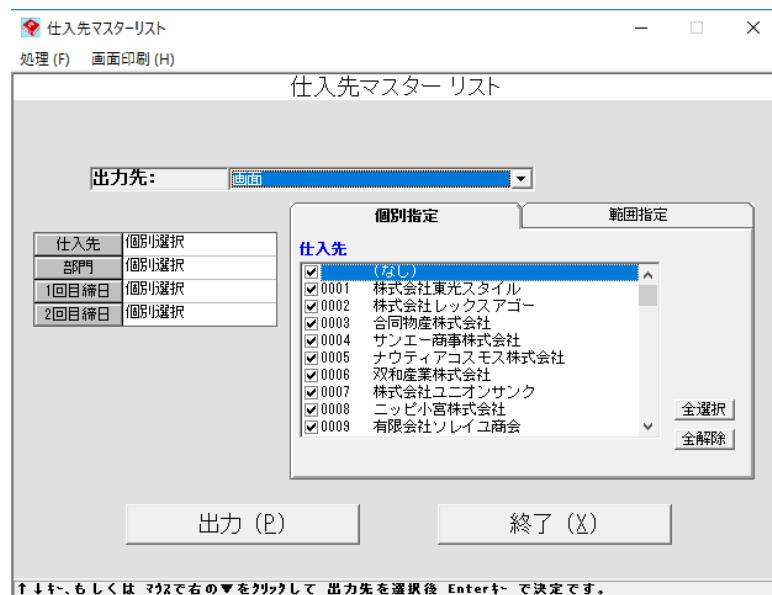
- ①コード表
- ②割付表

① マスターリスト

仕入先マスターを一覧形式で出力します。

- ・出力先:画面上か印刷かを選択します。
- ・抽出条件:仕入先・部門・1回目締日・2回目締日の条件から抽出できます。

仕入先と部門は個別指定と範囲指定が、1回目締日と2回目締日は個別指定のみ可能です。



②割付表

仕入先のコード、略称カナ、仕入先名、仕入区分、締め日、回収日項目に絞って、略称カナ項目の五十音順で印刷できます。

基本モジュール



I -02-4 仕入先マスター [2回締め]処理

«この機能はオプション(有償)です»

運用を希望される方は弊社担当営業、またはサポートまでご相談下さい。

[2回締め]説明

一ヶ月に2回支払がある仕入先は、当然のごとく2回締めが発生します。アパレル業界の特色でもある2回締めは下記の手順で登録し運用する事ができます。但し、オプション機能の為、必ず設定する必要があります。

■運用条件

- ・仕入先単位で設定可能です。
- ・会社締間内で1回目締め日は2回目締め日を超える設定は不可能です(下記の例題参照)。
- ・販売管理 仕入締め日処理を月2回行う必要があり、また買掛業務も月2回行う必要があります。
- ・締め日項目は月間運用中変更することは不可能です。変更する場合、先付明細が無いことを確認し、月次更新後に変更します。

| | | | |
|-------|------------|---------|--------------------|
| 送り状区分 | 1-佐川急便1(新) | TAX丸め区分 | 0-切り捨て |
| 案内書発行 | 1-有 | 2回締運用 | 1-有 |
| 繰越し金額 | 0 | 締日 | 15 2回目締日 31 |
| 支払率 | 100.00 % | 支払サイン | 1-当月 2回目支払サイン 2-翌月 |
| 振込手数料 | 500 | 支払予定日 | 31 2回目支払予定日 15 |

例題

A.

| | |
|-------|--------------------|
| 2回締運用 | 1-有 |
| 締日 | 15 2回目締日 31 |
| 支払サイン | 1-当月 2回目支払サイン 2-翌月 |
| 支払予定日 | 31 2回目支払予定日 15 |

B.

| | |
|-------|--------------------|
| 2回締運用 | 1-有 |
| 締日 | 31 2回目締日 15 |
| 支払サイン | 1-当月 2回目支払サイン 2-翌月 |
| 支払予定日 | 15 2回目支払予定日 31 |

①会社締が31日締の場合、A.の設定は○、B.の設定は×となります。

理由は会社の締日から先にくる締日は31日より15日にほうが早くくるためです。

②会社締が20日締の場合、A.の設定は×、B.の設定は○となります。

理由は会社の締日から先にくる締日は15日より31日にほうが早くくるためです。

※2回締めの項目についてはP.4の表をご参照ください。